

2019年3月5日
北陸電力株式会社

株式会社フジクラの不適切事案に対する
志賀原子力発電所への影響について

株式会社フジクラ（以下、「フジクラ」という。）及びそのグループ会社の製品の一部における品質管理に関わる不適切事案(2018年8月31日フジクラ公表)を踏まえて、志賀原子力発電所への影響について確認した。

1. 不適切事案の内容

フジクラからの公表内容は次のとおり。

対象製品：送配電用電線，産業用電線，通信用ケーブル等73品種

不適切行為：検査項目の未実施，頻度不足等70件

関係する拠点：10拠点（フジクラ4拠点，子会社6社）

対象となる期間：1987年以降

2. 志賀原子力発電所の使用状況

安全重要度の高い機器等[※]へは使用していないことを確認した。

なお，安全重要度の高い機器等以外（クラス3）の機器等への使用として，難燃性耐熱ビニル絶縁電線（600V）が非常用照明設備に，コントロール銅管が復水ろ過設備で使用されているが，継続使用に問題ないことを確認した。

※：「安全機能を有する計測制御装置の設計指針(JEAG4611)」及び「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針(JEAG4612)」における重要度分類クラス1・2に属する構築物，系統及び機器並びに重大事故等対処設備

以上